

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	みつな保育園
施設所在地	東京都台東区雷門2-1-10若山ビル1階
法人名	特定非営利活動法人サンキッズジャパン

1. 活動のテーマ

<テーマ>

★表現（言葉・ジェスチャー）

園で導入している英語プログラムを活かしながら園児の表現やジェスチャーへの興味関心を深め、コミュニケーションを豊かにするため

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

子どもたちは土地柄、お散歩や公園遊び、お店などの日常生活で、外国人の方に声をかけてもらい自然と英語に触れる機会があります。

また保育士とのやり取りの中でも言葉に興味を持つ姿が見られるため、英語をより身近に感じて言葉に触れたり、生活の場面で実際に表現してみるといった活動を取り入れたいと考え、テーマを「言葉」と設定しました。

また、単に言葉を習得するだけでなく、表現を受け止めてもらうような活動を味わうことで、自己肯定感を高めてほしいと考えています。

2. 活動スケジュール

【1歳：6名・2歳：6名】

9月～11月

「見つけてみよう/where are you?」の表現を楽しむ

「動物かくれんぼ・動物の名前に親しみを感じる/peek a boo」

「おやすみ/good night」

12月～1月

「身体を動かす楽しさを知ろう/Hop!Hop!」

「お風呂に入ろう/bathtime」

2月～3月

「果物と一緒にリズムを楽しもう/apple fell」

「赤ちゃんが大好きなハグをする/Hug me」

「色々な乗り物/what`s coming?」

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

PC、プロジェクター、PC用ウェブカメラ、外国人講師代、スピーカー、HDMIケーブル、活動の流れ設計サポート講師

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年間を通じて1か月に2つつテーマを決めて、そのテーマに添った言葉遊びや表現を楽しみつつ、外国人講師との英語の時間を楽しむ。また英語の時間に出てきた表現を、実際の活動の場面で使用してみることで表現の探求を楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「色々な乗り物/what`s coming?」でははじめは消防車、救急車と日本語で答えていたが、回数を重ねるごとにfire track, ambulanceと英語でのやり取りを友だちや保育者と楽しむようになっていった。外個人講師の問いかけにも自信を持ってこたえるようになり、「グッドジョブ!」と褒められると嬉しそうにする姿が見られるようになってきた。

「赤ちゃんが大好きなハグをする/Hug me」ではお迎えにきた母親に「ハグミー」と言って抱きつく園児もあり、保護者も園児がしっかりと英語活動の体験をしているんだと実感すると共に子どもとコミュニケーションが取れてとても嬉しそうにしてくれていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めは子どもたちは「英語」が普段自分たちが話す「日本語」とは別の言葉だということの認識したり、動物ややさい、乗り物の名前そのものを理解することが難しいように感じたが、日本語で答えていた子どもたちも回を重ねるごとに英語で答えるようになった。

日常的に身近なものの名前を英語で伝えたりすることを繰り返し行うことで、自信を持って講師の先生とのやり取りを楽しんでいると感じた。

「ChooChoo」のフレーズや歌が気に入り、常に口ずさんでいた。その姿がとてもかわいかった。

電車や乗り物が好きな子が多く、ChooChooをきっかけに英語への興味が一気に深まったように感じた。

電車だけでなく身近なものや乗り物も英語でのフレーズを聞く様子もあった。散歩先でも外国人にあっただ際には英語で挨拶するなど表現の楽しさへと繋がったと感じた。

消防署への見学の際には消防車を間近で見た時に、fire trackだ！と話していたのには驚かされた。

講師とのやり取りも積極的になり、挨拶や単語は自信を持って答えられるようになった。講師の先生とのやり取りも自信を持ってできるようになり、表現することの楽しさ、コミュニケーション、ジェスチャーで伝えることの嬉しさなどに繋がったと感じた。